

信州大学医学部付属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 27 年 6 月 1 日

**「間質性肺炎」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。**

信州大学医学部医の倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3164
課題名	間質性肺炎のバイオマーカーとしてのペリオスチン性能実証のための後ろ向き研究
研究機関	信州大学医学部付属病院、久留米大学医学部附属病院など
研究責任者	信州大学医学部付属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科 山本 洋
研究実施期間	2015年6月1日～2017年7月31日
研究の意義、目的	間質性肺炎は難治性の稀少疾患で、診断法、治療法が確立していない。本研究では、細胞外マトリックス蛋白のペリオスチンが、間質性肺炎において新規のバイオマーカーとなり得ることを証明することを目的とします。
対象患者様	2011年1月1日から2014年12月31日の期間に当院で 間質性肺炎について医療を受けられた方。
利用カルテ情報	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、画像、病理所見など
その他	この研究は、“血液中ペリオスチン濃度の測定”という臨床研究で対象になった方に関する、多施設合同後ろ向き研究です。

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究に診療記録利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

この研究でご自分の検体、診療記録の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部附属病院

担当者 呼吸器・感染症・アレルギー内科 山本 洋 (電話: 37-2631) 直通